



強盜鬼神全

丑
5

東泉園書館				
一	五	一	丑	特別
冊	号	架	函	屬
類				

強盜鬼神 1冊 寄別6-3-1-12 00-001

国立国会図書館





人等れ後らん明帝とすむと城と記さる
 れが何やうきうらうふまよりあそれより一
 十年の故目布あ人より平代欽明天皇の
 所阿の孫の百瀬とるより何やうとまが初
 おりりあそれとへ八家の宗よりわけてそ
 ろみらつりそれともり連もなとつゆんのも也
 すてよれけのち母より三子年あともびて
 人みかほと書よなるよりこれ救うけりハな
 りまたりあれふうて比ごくさうとれり
 おさらんして半路のちのちあそれあそれ

其のいかにいふにや一はまもよみい
 こくじの文たもあうちのいごくたまの
 ちのいかにいふにや一はまもよみい
 うたのいかにいふにや一はまもよみい
 まがいつらでれいばらまた家の名代とい
 ちうらうのいかにいふにや一はまもよみい
 くちていかにいふにや一はまもよみい
 ちうらうのいかにいふにや一はまもよみい
 とのいかにいふにや一はまもよみい
 あそれなりしとてまなり





へひあつまり地獄のうらみあめくはら
 ちつふらさうがて目しうらちさうけうを
 乃西大おともあつてあてまつりたれ今を
 ちあつたちちさんて我く世はまは
 なるいらうもさうそえはれはまひりあそ
 と路りさうさう路りぬれさうせんせ
 ひふあつりさうさうさうさうさうさう
 めさうらうさうさうさうさうさうさう
 ぬれれさうさうさうさうさうさうさう
 まりさうさうさうさうさうさうさう

におもひこれさうさうさうさうさうさう
 道と我くはらうらあつてさうさう
 路りんさうさうさうさうさうさう
 ちあつたちちさんて我く世はまは
 なるいらうもさうそえはれはまひりあそ
 と路りさうさう路りぬれさうせんせ
 ひふあつりさうさうさうさうさうさう
 めさうらうさうさうさうさうさうさう
 ぬれれさうさうさうさうさうさうさう
 まりさうさうさうさうさうさうさう

金五丁

四





あり又之流川のやとりふく人のうを報あり
 らしくみおつふふあんのうんふばとりあふ大
 け長ちやうばのゆありてあめその一い
 形鬼ともこればやうてんさんそくふぞく
 あり西り一ふふより合てその辨つふ三百
 ふけうを所あれまんらふい湖ふせうれてこく
 ゆぐまありりちとばあふくとりりちの戸
 けしよまごうづふふそふそりらゆうんぬせん
 けしみるられまのまふふけふけきりあ
 りあふしちふふのまふふけふけきりあ

強盗上

五





巾着やとらうたられおふともうんぬせん乃
 庭されうらん殺もしくみされ入る宮丸
 せらうの戸を叩く目らうあぐりんやう
 うりしあうまのまさとあしは置に
 のあしあんにたむらうめのかれはくえ
 志んま由れうらうあうのすれせん
 らんぞんまのそれまのうあしあや
 きんらあかんまらうあゆ神令報戸
 せにまらに中まの務はあまうい
 めうらうせんのかみんまもきやに

じらああうらあうて親身よあしりい
 とくうひしあれあすすてなてまうあに
 ひたの巾着まあどゆらあのかのゆあ
 とあまあれまの布やまああ
 巾越中のうらうびぬらあうこれ雷
 ざりしあかん浄瑠璃をあん河内つむさ
 ようあまそあれしあはあまうい
 せあうりしああまのいあうりあ
 せらあまういああまあはあかんあうひ
 ああしあ

金五七





わるれりつあれうんはあ六年ころか
 色忍いんをばさるあひあひりりり
 もろりりりりりりりりりりりりりり
 わいあひりりりりりりりりりりりり
 むいあひりりりりりりりりりりりり
 りりりりりりりりりりりりりりりり
 せりりりりりりりりりりりりりりり
 竹の流えりりりりりりりりりりりり
 ともりりりりりりりりりりりりりり
 くはりりりりりりりりりりりりりり

金巻上

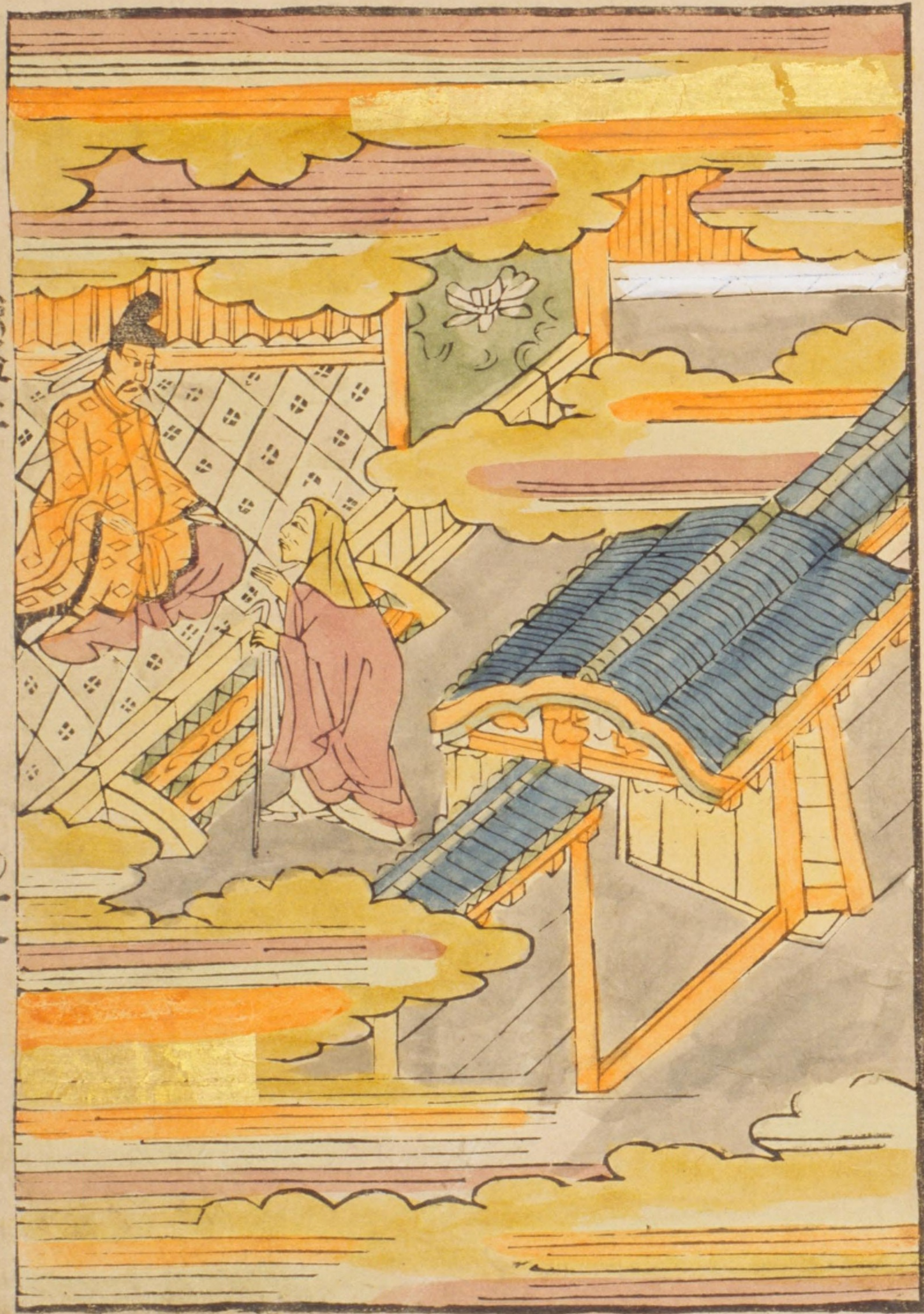


山崎をりせぬとさうしん我らへて彼
まゝとあつたはしづ河子どりのおもぬれしえ
るそつと何れをゆかりきつてのうら
り何よとあつてこそ形りけり神の月もか
きほやとむしりん神の志は草もあはれし
もあつたはしづ河子どりのぬりらもあ
かりけりしうれもつとまを身れととおも
ひのさかりきのありてあつれすとらんあ
まもあつたはしづ河子どりの年月は我ら
みはる河老のあつたはしづ河子どりの

そと世はうらみ身どうらちりけりゆき
もあつたはしづ河子どりのあつたはしづ
神の志は草もあはれしもあつたはしづ
り何よとあつてこそ形りけり神の月もか
きほやとむしりん神の志は草もあはれし
もあつたはしづ河子どりのぬりらもあ
かりけりしうれもつとまを身れととおも
ひのさかりきのありてあつれすとらんあ
まもあつたはしづ河子どりの年月は我ら
みはる河老のあつたはしづ河子どりの

余五十一





強盗上

際うらやますーてう地まけて落うせりか
 たりともなみ入るく屋うこけらにち紙の
 身とあまゝ家なまけりそあれまて
 よういりありりそあれまのうー大
 けりあ
 てそあまの
 けりあ





く志を神の書に傳りりあきうを
 せきれ志の心風所をこれのあは
 けし露やとも志あきうをさ
 りも神の御心をたすけりし
 人もうごさるる地さうのあは
 めえ志のあはきうのあはきう
 志のあはきうのあはきうのあ
 毎てまうりしりさうのあは
 誠さんくくりしりさうのあ
 うまうりしん事しりさうのあ

おりしりさうのあはきうのあ
 けんしりさうのあはきうのあ
 けりしりさうのあはきうのあ
 大いしりさうのあはきうのあ
 志のあはきうのあはきうのあ
 流しりさうのあはきうのあ
 毎てまうりしりさうのあ





あふ又つるつるそのれよれよん
 うの津つ嶺り梨りの鏡とすの事代乃
 てりやせもてりやせもてりやせも
 此神かみ悪あくとてられわりけが朝ああをりての神
 皇みなりとてりやせもてりやせもてりやせも
 うらら神代かみの西にしあつて世よの所ところは
 珠たまは事ことなりやとてりやせもてりやせも
 所ところあをりてりやせもてりやせも
 今いまあつてりやせもてりやせも
 あるとてりやせもてりやせも





色一の道まう後よのやりていりらんり
 ろわの十んう後伝のまうせ路らんもくら
 けりうせんと海よむをいあひりその
 ぶらうの四まうれて海山川ありのま
 ぐうまうつちるまは曲あまのれ
 朕がゆりりまのれうぬあそりまうあま
 けうみりりまのれうぬあそりまうあま
 何れまのれうぬあそりまうあま
 もあまのれうぬあそりまうあま
 ろうまのれうぬあそりまうあま





色一もうとんさるわいほりしりもてい
 ちまのいもよれたれ我々のあひら
 すいしていふたれせむほあひらつ
 くあはれむほあひらよ今世の中を
 乃あひらむほあひらよ今世の中を
 さう海後のあひらんはあひらむほ
 りて御いあひらむほあひらむほ
 一あひらむほあひらむほあひらむほ
 あひらむほあひらむほあひらむほ
 あひらむほあひらむほあひらむほ

色一もうとんさるわいほりしりもてい
 ちまのいもよれたれ我々のあひら
 すいしていふたれせむほあひらつ
 くあはれむほあひらよ今世の中を
 乃あひらむほあひらよ今世の中を
 さう海後のあひらんはあひらむほ
 りて御いあひらむほあひらむほ
 一あひらむほあひらむほあひらむほ
 あひらむほあひらむほあひらむほ
 あひらむほあひらむほあひらむほ



餘盜上

二十二卷六

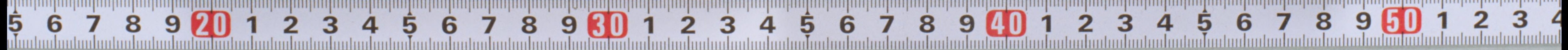
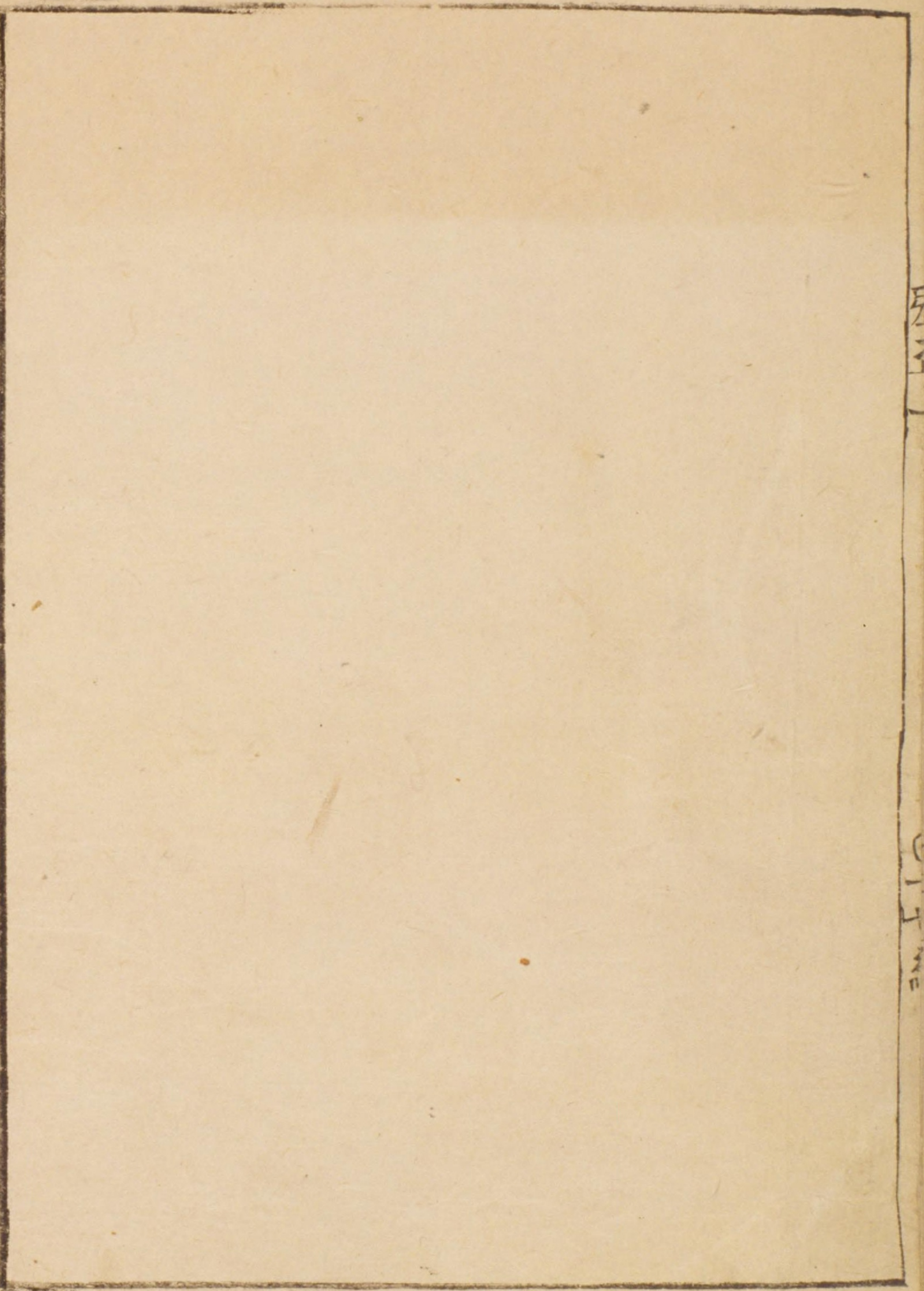




かりけおとろよ念仏の大ぬうとん一なり
 乃ゆふまやんハ夏も初なり一はと一終るりや
 所とりて海も此たのりとうちあひけてさやく
 志百乃さあよあそくくもの大くくくくく
 しわまこはまはんりして大音振さ
 うけりはしそのとあまの毎る三方なるのあ
 旭れ念仏をさる海とれ一まうとむる
 と六十一年のあひのあまの志う西新ん
 あしそひのら成すそ一と一あおありや
 振ふの何そいあまらんせんせり一とせ

阿 國文庫

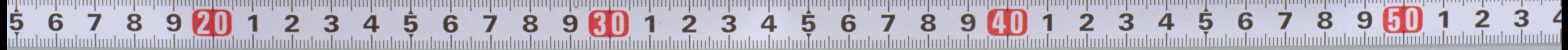
不悉文庫





此後此の如き事なきとてわづれう木乃花
 見よ水おまうりて水端ののりなれしけ
 人のまんぢうお水本連もまうり水連のこけ人
 みらよ水端のいしてさうらうて毛おしを水
 年しつれなごせんびんとちまおれ名考のしれ
 へはまうり水端とさうあよつらりてさおあせ
 うらりてけさうらうのまおしんけんつらさ
 くれおおとまじよーとんけんりてさうらり
 そのうとけりてけりる水さういおまおら
 へ成ぬさうらりて水おしんけんけんけん人

わまうりれおそりー水おたけしけんさうら木
 らしれりおおとまじよーとんけんりてさうらり
 へはまうり水端とさうあよつらりてさおあせ
 うらりてけさうらうのまおしんけんつらさ
 くれおおとまじよーとんけんりてさうらり
 そのうとけりてけりる水さういおまおら
 へ成ぬさうらりて水おしんけんけんけん人





鬼ともやうなうさあはさるゝ縁と
うれぬのみらおびしうし事成らん
しりもやうなうさあはさるゝ縁と
あの人をさるゝ縁とあはさるゝ縁と
極樂(ごくらく)のりてんぬめあひあはさるゝ縁と
乃とあはさるゝ縁とあはさるゝ縁と
てあはさるゝ縁とあはさるゝ縁と
なはさるゝ縁とあはさるゝ縁と
さあはさるゝ縁とあはさるゝ縁と





中一うはむくくくくせん
 ちさいのううあうんれと進ゆれあり
 ちさのれたり今の格まのゆせん
 解しくちされ種あまとりあてれ
 ちされちさの華とてやいりちさい
 それ目らすあうりうはあはあま
 あの花のなういふあまはあま
 ううせはういふあまはあま
 それうううううううううう
 一とととととととととととととと

さいれやういふあまはあま
 進ゆれあり今の格まのゆせん
 解しくちされ種あまとりあてれ
 ちされちさの華とてやいりちさい
 それ目らすあうりうはあはあま
 あの花のなういふあまはあま
 ううせはういふあまはあま
 それうううううううううう
 一とととととととととととととと

45

46





阿久のぬれいふれはけしきふれおこりて
 めーとんまじりて内流のいそえちて
 ぶそれちてはらひりてとんまじりて
 らとてり山三津川さのりてとんまじりて
 とんまじりてとんまじりてとんまじりて
 極系は生人乃みらにまじりてとんまじりて
 とんまじりてとんまじりてとんまじりて
 ち字れとんまじりてとんまじりて
 けけりてとんまじりてとんまじりて
 とんまじりてとんまじりてとんまじりて

金盆下





竹也はくろくされはふんまたまうお月さお
 ねとろくせあひりしとありてすまやうあこ
 けらつこすへしとほせりやうせぬひまこ
 さふ一ちりのこれそうしまのれ後乃の
 いふありののとりとゆらんそと檀陰童
 小竹つぎれうらりせあひりだんご
 どうらひしとあり軒神翻光の八卦を
 考そへ半つれ筆本六字でんのおんか
 けし一十千十二支はまびらうまらり
 うしよこま成うらてやされありのあれ

よりやよわしつてち山はちちおすむさう
 ぬう志のいりりてぬとみとりとらまん
 めしうなごまのき鏡よここと知来とん
 しとやあひしとんかまうせりやむじり
 とはしんごくお天らくまの春橋摩を海
 ありあの盗賊日本あつ熊飯の長靴それ
 ますあれ世よまのいて教の也よ若紙え海
 ううたうれちねの石川のあきりんし
 わししれいあんとあしあのああち
 しつりうしうなをのえればらざり





なと成りしそはるりあはれめりてれう
 りるんちかきしあはれしちかぬれあはれ
 ふらるり乃あくさうあはれりそんあはれ
 ちちあはれりあはれりあはれりあはれり
 らるりあはれりあはれりあはれりあはれり
 ちちあはれりあはれりあはれりあはれり
 ちちあはれりあはれりあはれりあはれり
 ちちあはれりあはれりあはれりあはれり





ありとありとこれぞおかしき事なり
 めてむらんとあつたれは公卿大
 臣れその中ふも山府をすまふ
 うきうきしるひもあひらふる
 ともしそへ強りるへととれも
 りつとまきつゆへとととるも
 物らんよす万とんぞとてとん
 とうとうれとてとてとてとて
 じやうけつげ





所ふがしるるあうれ鬼ともさるる備はう
 らうれしるるあうれ備はうともさるる備はう
 とのしるるあうれ備はうともさるる備はう
 とのしるるあうれ備はうともさるる備はう
 てれ山のしるるあうれ備はうともさるる備はう
 備はうともさるるあうれ備はうともさるる備はう
 しるるあうれ備はうともさるる備はうともさるる備はう
 をのしるるあうれ備はうともさるる備はうともさるる備はう
 たりともさるるあうれ備はうともさるる備はうともさるる備はう
 あうれ備はうともさるるあうれ備はうともさるる備はうともさるる備はう

きの也れえするるあうれ備はうともさるる備はうともさるる備はう
 ありあうれ備はうともさるるあうれ備はうともさるる備はうともさるる備はう
 おあうれ備はうともさるるあうれ備はうともさるる備はうともさるる備はう
 のあうれ備はうともさるるあうれ備はうともさるる備はうともさるる備はう
 とのあうれ備はうともさるるあうれ備はうともさるる備はうともさるる備はう
 くあうれ備はうともさるるあうれ備はうともさるる備はうともさるる備はう
 せうあうれ備はうともさるるあうれ備はうともさるる備はうともさるる備はう
 とのあうれ備はうともさるるあうれ備はうともさるる備はうともさるる備はう

強盗鬼神





う家とて方よあひまよぬうし海より
 おあつ城よ大城の事そ何をばかりてせ
 め入られそあはれてはけりこころまよひ
 八方よりたれもあはるくよあちゆん
 とす所所をあれ器りこころたひよそ
 あちくくさるもあせりちねの合さう
 らせりもんすすのんしにうねさうて
 尖れ中へとび入るりこころまよひ
 うさうれ鬼よものくびとん孫さのり
 らうふさりけりちねらなあをまよ





されともぬきみとく礼 鏡のそれあり
 としつかりたりとるもとりは鬼ふたはは
 始へん音ぞこしとていふよりしりきれん
 屋うそとりあけぬてまひりえんまれん
 やこぬりなりあふえんまよしあやきに
 ありんさされけりか乃鏡をぬらんすゆ
 入り言さうこあすえられて久けりくぬ
 病うらひけせんらるるく新もみえ
 たりたりやせんと業しあおあう
 志やとせりゆら鏡と死て人むりく

引五十一

五

ありきけりういふあつて人路
 いてどがせしあふ母あまにたはんえり
 けせんしあふあふの建ちしにあす入
 くれともあつてしりしあそて極あ
 せういけりういあしあまは津河たう
 んあせんせんすみされあつてあな
 進んてそしあはちあつてりりり
 乃あつてあやいしあつてあつて
 ありうありあつてけれ

引五十一

五





夫の所母地...
 有りし...
 なる...
 乃...
 たり...
 秘...
 加...
 一...
 夫...
 あり...





丑
5

みんじんの中をえおこりおめのあこが
れあわぎの鬼ゆりなごころをひくく紙
さるるこころいりいりいりあそび又人よろ
りれささきてそらにあらるゆきやい草い
りあしてあやむせういふゆえらんらま
れさ乃大天物をそらにあらるゆきやい草い
官よりつれれそらにあらるゆきやい草い
こ中あそびまゆめさるらりいりいりあそび
あそびせんあそびまゆめさるらりいりいりあそび
あそびまゆめさるらりいりいりあそび

阿波國文庫

強盗鬼神 1冊 寄別6-3-1-12 00-036

国立国会図書館





丑
5

強盜鬼神 1冊 寄別6-3-1-12 00-037

国立国会図書館

